

「十人十色のオーストラリア」

●講師紹介 榊 道人氏

オーストラリアンフットボールの国内普及を目指す現役の選手であり、過去にはオーストラリアの地方リーグでプレーするなど本場オーストラリアでの経験も持ち合わせています。プレーだけでなく、言葉や文化の壁にも果敢に挑戦し、多数のメディアにも取り上げられました。



●講演内容

講演の前半では、オーストラリアの文化や食事など、私たち高校2年生がこれから行く海外研修の参考になることを話してくださいました。例えば、『海外では日本のように「団体」ではなく「個人」を大事にするため、会社で誰か1人が休んでも他の人は文句を言わない』や『オーストラリアでは時間に対しておおらか』など日本との違いを感じました。後半では、日本人が海外で英語を話すことに抵抗があり、受け身になっていることに対して「一歩踏み出すことの重要性」を教えてくださいました。さらに、オーストラリアでは移民を受け入れているため、様々な国の人が多いそうです。そのため、私たちがどんなに英語が下手だとしてもオーストラリアの人は親切に聞いてくれるので、怖がる必要はないということも榊さんはおっしゃっていました。最後は、「ワークショップ」という30秒スピーチを生徒3人が行い、私たちに様々なことに挑戦する勇気を見せてくれました。



講演感想文

○私は今回の講演会で多くのことを知りました。その中でもオーストラリアの人々の多様性や個人の尊重などの体験談がとても心に響きました。「オーストラリアは移民が多い。」このことから移民に対して、海外から来た人に対して優しいというのは本当に素晴らしいと思いました。今回の講演で国際関係についてより興味を持つことができました。貴重なお話をしていただき、ありがとうございました。

○榊さんの話を聞いて、海外研修は、とにかく自分からチャレンジしていく姿勢で参加しようという思いが強くなりました。榊さんがおっしゃっていた、「英語ができるできないではなく、まずは会話をしてみる」という言葉にとっても共感しました。ホストファミリーや向こうのスクールで出会った人と、まずは恥ずかしがらず、自分が持てる最大限の英語で、コミュニケーションをとってみたいです。僕は今回オーストラリアにはいきませんが、将来オーストラリアへ行き、大きなスタジアムでオーストラリアンフットボールを観戦してみたいと思いました。とても参考になる講演でした。

生活委員より

今回の講演ではオーストラリアと日本の様々な文化の違いを学ぶことができました。また、英語がうまく話せなくても意味が通じることを知り、海外研修では積極的に話していきたいと思いました。“Pain is temporary. Giving up is forever.”の言葉の通り、何事にも挑戦していきたいです。

作成：高2 生活委員